

自然公園等工事特記仕様書（自然公園編）

I 工事概要

1. 工 事 名：令和5年度皇居外苑北の丸公園外周道路フェンス改修工事
2. 工事場所：東京都千代田区皇居外苑北の丸公園1-1
3. 工 期：令和6年3月31日まで
4. 工事内容：本件は、皇居外苑北の丸公園の外周道路フェンスが老朽化しているため改修工事を行うもの。
基盤整備工 1式（撤去工、敷地造成工）
施設整備工 1式（施設整備工）

II 適用

1. 本特記仕様書は、「自然公園等工事共通仕様書（自然公園編）」（以下「共通仕様書」という。）でいう特記仕様書で、本工事に適用する。
2. 本工事は、建設工事おける週休2日制の試行対象工事である。
3. 本工事の施工に係る一般事項は、共通仕様書による。
4. 追加事項が必要な場合には、空欄部分に記載する。
5. 以下の項目は、該当する口欄に「レ」の付いたものを適用する。

III 特記事項

1. 地域事項の概要（皇居外苑北の丸公園について）
 - ・工事箇所を複数設定する場合は箇所数に応じた現場代理人の補助者を定めること。
 - ・工事の実施時間は、月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時までとすること。その他の時間の工事実施については、皇居外苑管理事務所北の丸分室（以下「分室」という。）に申し出て承認を得ること。
 - ・休日（土曜、日曜及び祝祭日）の工事は認めないが、施工上やむを得ない理由があるときは分室に休日作業願を提出し事前に承認を得ること。
 - ・工事にあたっては、「皇居外苑工事作業心得」及び分室の指示を厳守し、作業責任者は作業員の規律保持に留意すること。
 - ・工事にあたっては、管理事務所から貸与する腕章を着用すること。
 - ・工事開始前及び工事終了後は、その旨を分室に報告すること。
 - ・園内への車両の乗り入れにより、橋梁部や道路などを損傷しないこと。橋梁部は10t未満の通行のみとする。
 - ・園内での車両通行は、計画的に行い、最徐行を厳守すること。
 - ・園内の施設・構造物等や樹木を損傷したり、公園利用者に被害を及ぼしたりすることのないよう十分注意し、常時工事区域周辺の安全管理を行うこと。
 - ・園内の施設・構造物等に、破損・汚損等の損害を与えた場合は、監督職員に直ちに連絡するとともに、請負者の責任において速やかに現況復旧すること。
 - ・園路の通行止めを要する等の供用に影響する作業にあたっては、予め監督職員に計画

書を提出し、確認を受けること。

- ・工事に伴う騒音、通行止め等について、公園利用者、住民等へ必要に応じ事前にポスティング及び掲示等により周知を図るとともに、問合せ及び苦情に対応する。
- ・工事にあたっては、疑義点が生じた際には、監督職員に協議すること。
- ・本特記仕様書に記載がなくとも、本工事を遂行するうえで当然必要な施工上の事項については請負者の負担とする。

2. 一般共通事項

- (1) 工事完成図のサイズは（A1、A3）とする。
- (2) 工事写真は、（A4 版、 版）の工事写真帳に整理して 1 部提出する提出することとし、写真はカラーでサービスサイズ程度とする。
- (3) 「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）に基づく、環境物品等の調達の推進に関する基本方針（以下「基本方針」という。）（環境省ホームページに掲載（毎年 2 月改正））において位置づけられた、「特定調達品目」の調達の実績（設備及び公共工事）について、当該年度の調達実績集計表（物品・役務及び公共工事）を環境省ホームページからダウンロードのうえ、Excel ファイルで作成し、提出する。
- (4) 提出書類等は、契約書及び仕様書に記載された書類を一式作成し、監督職員に提出する。なお、完成時は工事概要、完成図、実施工程表、出来高数量報告書、工事写真記録を A4 版ファイルで整理すること。

3. 施工条件

(1) 工事全般関係

- ①各種積算の取組：
- ②積算補正：施工地域区分：市街地（DID 補正）
- ③調査対象工事：工事着手前に関連する周囲を含め現況等を確認し、図面・写真などに整理のうえ監督職員に報告し、その指示に従うこと。本工事に使用する重機等は、車両の進入できる範囲が限定されるため、現場確認を行い、安全に運搬できる車種を選定すること。

(2) 環境対策関係

- ①自然環境及び景観等保全のための制約
 - a. 要因：公園の運営
 - b. 対象箇所：公園内内全域
 - c. 制約内容：Ⅲ 1. 地域事項の概要を参照

(3) 安全対策関係

- ①交通誘導警備員の配置
 - a. 対象要因：当該工事全般
 - b. 対象箇所：道路、園内一般利用エリア園路等
 - c. 対象期間：当該公園での施工期間中等（適宜）
 - d. その他：監督職員に予め確認すること。工事に際しては、歩行者や車両の安全を確保するため、必要に応じて交通誘導員を配置するなど安全対策を講

じなければならない。

- ☑ ②対策をとる必要がある他施設との近接工事
 - a.対象施設・管理者：周辺道路、建物等
 - b.対象箇所：当該公園関連全般
 - c.施工条件：事前調整、手続き等
 - d.その他（協議状況他）：監督職員に予め確認すること。工事で皇居外苑の隣接道路を使用する場合は、あらかじめ道路管理者等に許可を得ること。
- ☑ ③保安設備及び保安要員の配置
 - a.対象工種：当該工事関連等
 - b.対象箇所：隣接道路、園内一般利用エリア園路等
 - c.対象期間：施工期間
 - d.対象要因：各種作業等
 - e.その他：安全施設等により歩行者や車両の安全を確保するとともに、必要に応じて保安要員を配置すること。

(4) その他

- ☑ ①支給品・貸与品：監督員に事前連絡の上、協議。使用に際しては細心の注意を払うとともに、請負者による故障等の修理は請負者が負担する。
- ☑ ②現場事務所・現場休憩所等（テントを含む）の設置
 - ☑可 設置条件：管理区域内（監督職員の指示による）
- ☑ ③工事用水及び工事用電力の構内既存設備
 - a.工事用水：☑利用できる（☑有償、□無償）、□利用できない
 - b.工事用電力：☑利用できる（☑有償、□無償）、□利用できない
- ☑ ③資材置場や作業場等
 - a.場所：公園内の一部
 - b.期間：協議
 - c.制限内容：協議
 - d.その他：協議

4. 発生材のリサイクル処理等

- ・当業務で生じた発生材等は、関連法令を遵守し、一般廃棄物として再資源化施設に持ち込み等のリサイクル処理を行うことを原則とする。
- ・リサイクル処理の対象及び量については、予め監督職員と協議の上で決定すること。
- ・工事に伴い発生した廃棄物の撤去、処分は本工事に含まれる。
- ・工事に伴い発生した廃棄物は、法律に基づき適切に処分すること。

5. 週休2日制の試行

(1) 週休2日の考え方

- ①現場施工期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められること（年末年

始6日間と夏季休暇3日間は除く。)

- ②現場施工期間内には、工事着手日から工事完成日までの期間のうち工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは含めない。
- ③4週8休以上とは、対象期間内の現場閉所日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所についても、現場閉所日数に含めるものとする。
- ④現場閉所日数とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。
- ⑤現場閉所による週休2日の対象外とする期間 無
- ⑥受注者の責によらない現場閉所
工事契約後、週休2日対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定する。なお、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。

⑦やむを得ない現場閉所

やむを得ず現場閉所による週休2日の対象外とする期間を設定する場合は、必要最小限の期間とするものとする。また、現場閉所による週休2日対象外期間においては、技術者及び技能労働者が交替しながら個別に週休2日に取り組めるよう、休日確保に努めるものとする。

(2) 総合工事工程表の作成

受注者は、発注時の設計図書や発注者から明示される事項を踏まえ、総合工程表を作成する。

総合工事工程表を作成するに当たっては、当該工事の規模及び難易度、地域の実情、自然条件、工事内容、施工条件等のほか、建設工事に従事する者の週休2日の確保等、下記の条件を適切に考慮する。

- ① 建設工事に従事する者の休日（週休2日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇）の確保
- ②建設業者が施工に先立って行う労務・資機材の調達、調査・測量、現場事務所の設置等の「施工準備期間」
- ③施工終了後の自主検査、後片付け、清掃等の「後片付け期間」
- ④降雨日、降雪・出水期等の作業不能日数

(3) 工事工程の共有

- ①試行工事において、受発注者間で工事工程のクリティカルパスを共有し、工程に影響する事項がある場合には、その事項の処理対応者を明確にするものとする。
- ②円滑な協議を行うため、施工当初において工事工程（特にクリティカルパス）と関連する案件の処理期限（誰がいつまでに処理し、どの作業と関連するのか）について、受発注者で共有するものとする。
- ③工事工程の共有に当たっては、必要に応じて下請け業者（専門工事業者等の技術者等）

を含めるなど、共有する工程が現場実態にあったものとなるよう配慮するものとする。

- ④工程に変更が生じた場合には、その要因と変更後の工事工程について受発注者間で共有すること。また、工程の変更理由が受注者の責によらない場合は、適切に工期の変更を行うものとする。

(4) 現場閉所の達成状況及び精査

現場閉所の達成状況が4週8休に満たない場合は、請負代金額のうち、建築・設備工事については労務費、土木工事については各諸経費の補正分を減額して請負代金額の変更を行うものとする。(労務費及び各諸経費の補正分は入札説明書等による。)

案内図 S=1/10000 (A1)



新宿御苑

図 面 目 録

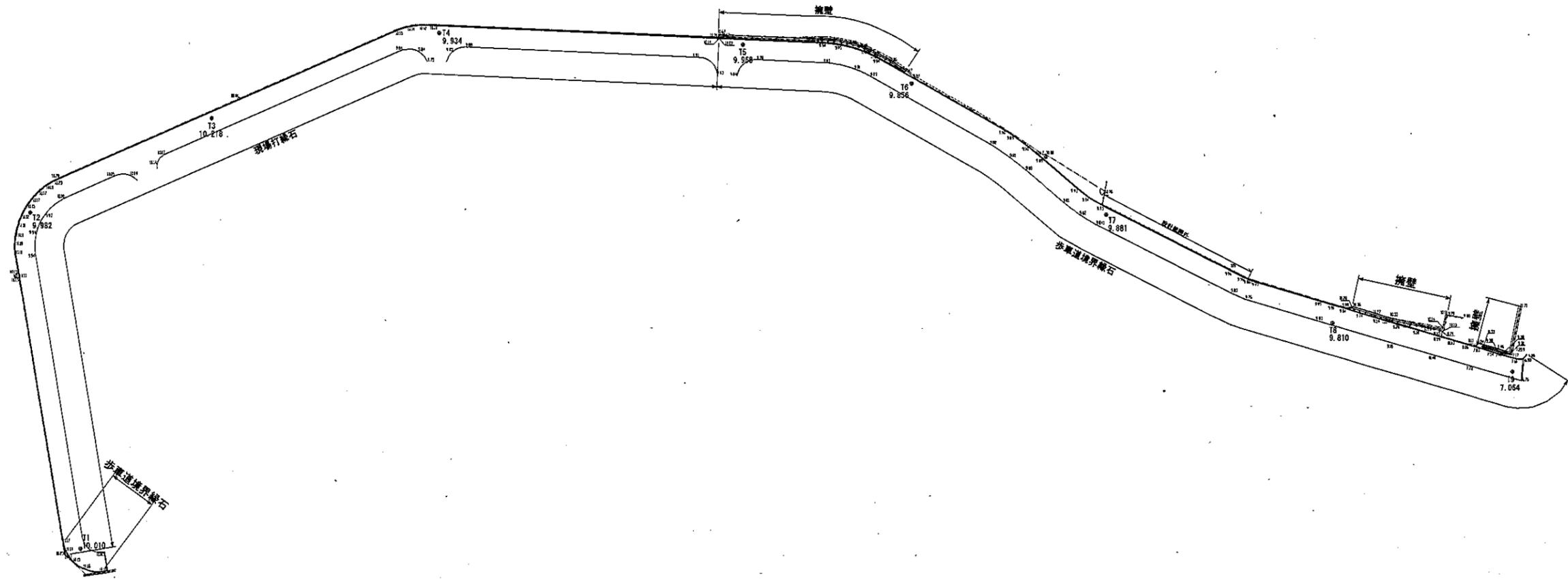
図面番号	名 称	縮 尺	備 考
1	案内図・図面目録	1:10000 (1:20000)	
2	現況平面図 (全体)	1/500 (1/1000)	
3	撤去平面図 (1)	1/200 (1/400)	
4	撤去平面図 (2)	1/200 (1/400)	
5	計画平面図 (1)	1/200 (1/400)	
6	計画平面図 (2)	1/200 (1/400)	
7	縦断図 (1)	V=1/40・H=1/200 (V=1/80・H=1/400)	
8	縦断図 (2)	V=1/40・H=1/200 (V=1/80・H=1/400)	
9	縦断図 (3)	V=1/40・H=1/200 (V=1/80・H=1/400)	
10	縦断図 (4)	V=1/40・H=1/200 (V=1/80・H=1/400)	
11	施設詳細図 (1)	図示	フェンス
12	施設詳細図 (2)	図示	門扉、電線管理設標準図
13	撤去詳細図	図示	フェンス撤去、門扉撤去

公園名称	皇居外苑北の丸公園		
工事名称	令和5年度皇居外苑北の丸公園 外周道路フェンス改修工事		
図面名称	案内図・図面目録	縮尺	S=1/10000 (A1) S=1/20000 (A3)
年月日	-	図面番号	1 / 13
会社名	三井共同建設 コンサルタント株式会社	照査	設計
事務所名	環境省皇居外苑管理事務所	照査	設計

現況平面図(全体)



S=1/500 (A1)
S=1/1000 (A3)

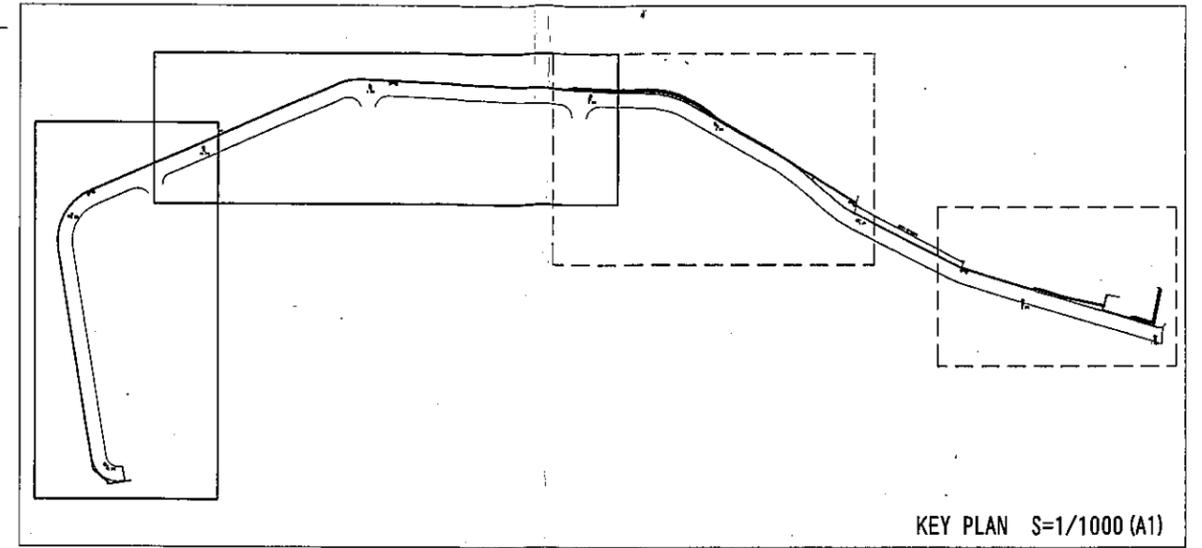


凡例

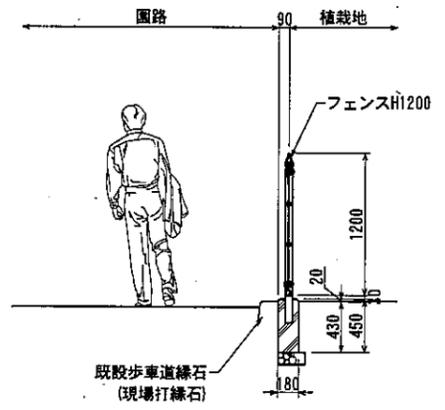
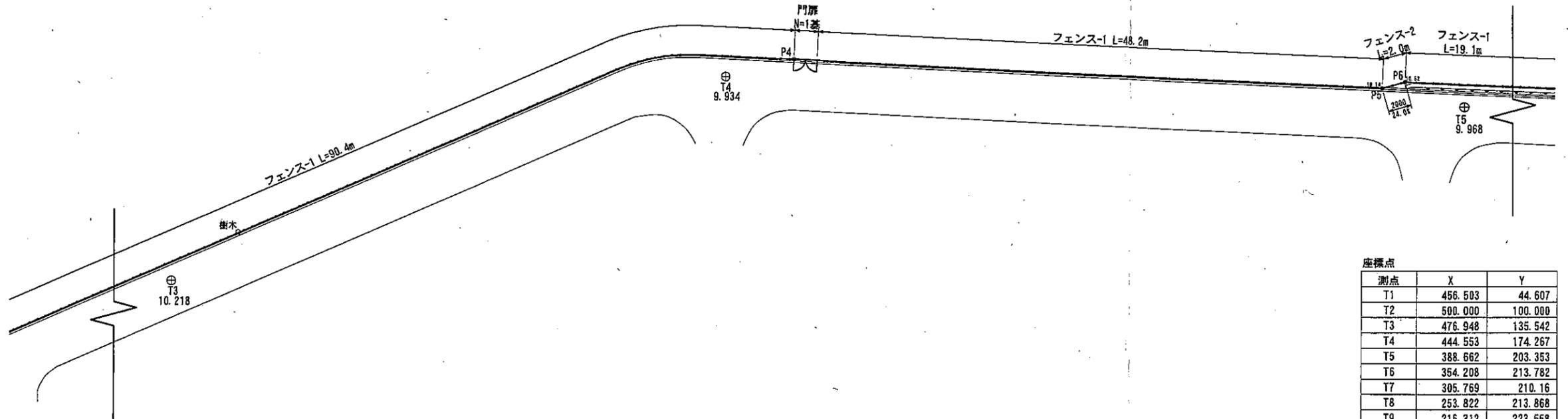
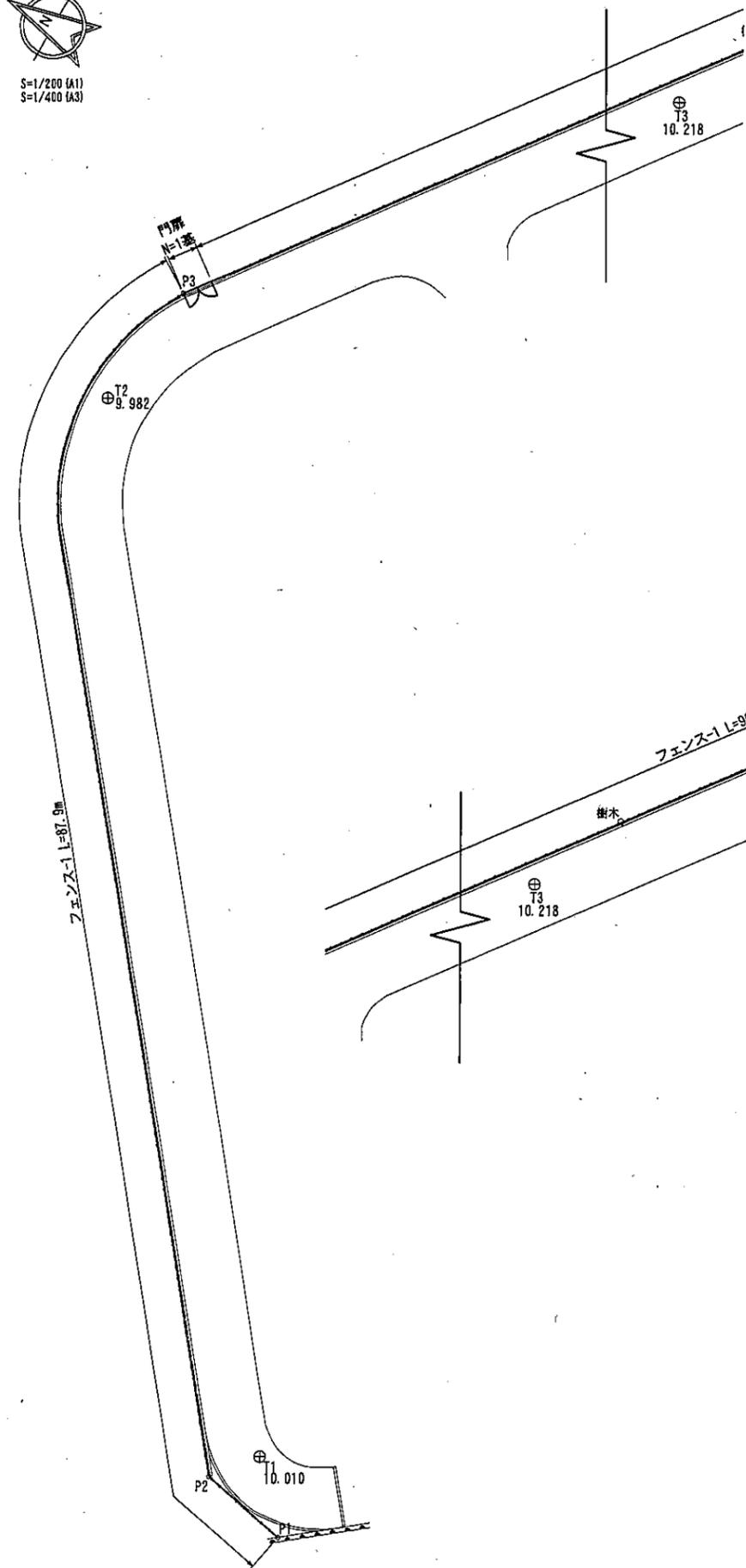
記号	名称
---	フェンス
----	電線管 (FEP)

公園名称	皇居外苑北の丸公園		
工事名称	令和 年度皇居外苑北の丸公園 外周道路フェンス改修工事		
図面名称	現況平面図 (全体)	縮尺	S=1/500 (A1) S=1/1000 (A3)
年月日	-	図面番号	2 / 13
会社名	三井共同建設 コンサルタント株式会社	照査	設計
事務所名	環境省皇居外苑管理事務所	照査	設計

計画平面図(1)



S=1/200 (A1)
S=1/400 (A3)

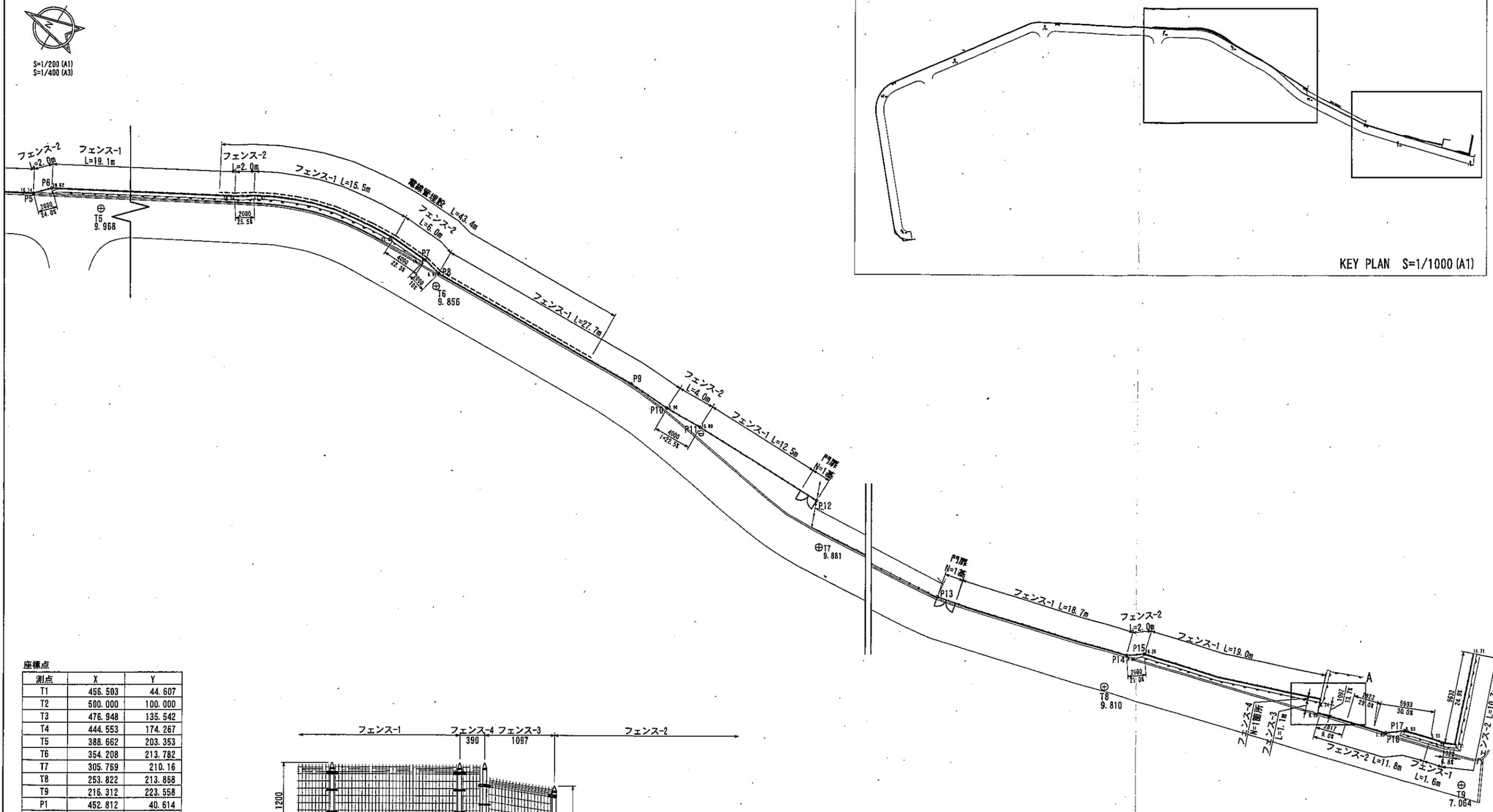
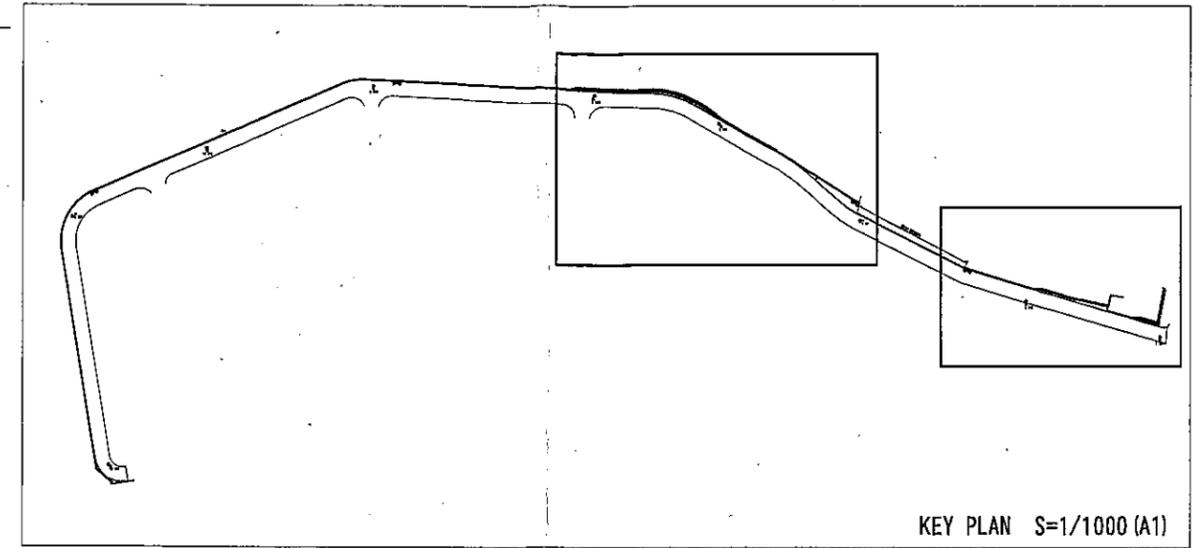


座標点

測点	X	Y
T1	456.503	44.607
T2	500.000	100.000
T3	476.948	135.542
T4	444.553	174.267
T5	388.662	203.353
T6	354.208	213.782
T7	305.769	210.16
T8	253.822	213.868
T9	216.312	223.558
P1	452.812	40.614
P2	458.811	41.785
P3	499.096	108.420
P4	440.251	178.478
P5	395.556	201.271
P6	394.139	202.683
P7	356.551	215.598
P8	354.620	215.075
P9	331.442	215.131
P10	326.938	214.793
P11	322.938	214.807
P12	308.411	214.280
P13	273.598	213.346
P14	253.415	217.905
P15	251.759	219.026
P16	225.799	224.389
P17	224.181	225.564

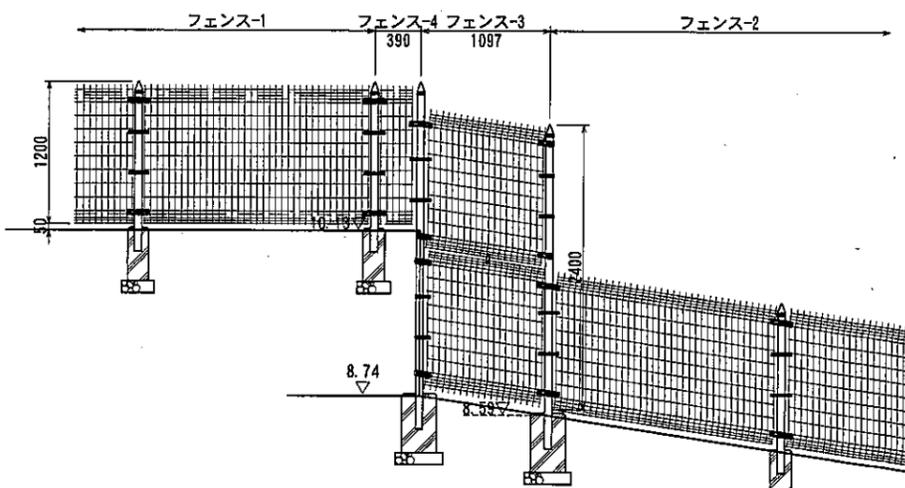
公園名称	皇居外苑北の丸公園		
工事名称	令和5年度皇居外苑北の丸公園外周道路フェンス改修工事		
図面名称	計画平面図(1)	縮尺	S=1/200 (A1) S=1/400 (A3)
年月日	-	図面番号	5 / 13
会社名	三井共同建設 コンサルタント株式会社	照査	設計
事務所名	環境省皇居外苑管理事務所	照査	設計

計画平面図(2)



座標点

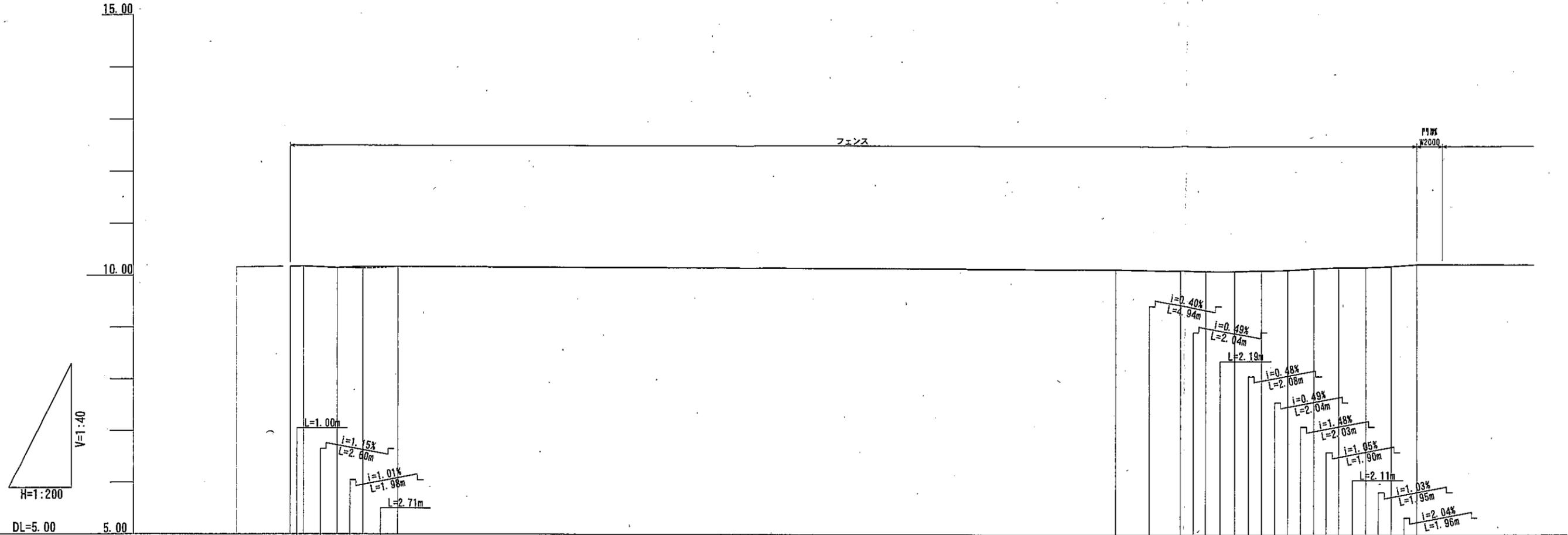
測点	X	Y
T1	456.503	44.607
T2	500.000	100.000
T3	476.948	135.542
T4	444.553	174.267
T5	388.662	203.353
T6	354.208	213.782
T7	305.769	210.16
T8	253.822	213.868
T9	216.312	223.558
P1	452.812	40.614
P2	458.811	41.785
P3	499.096	108.420
P4	440.251	178.478
P5	395.556	201.271
P6	394.139	202.683
P7	355.551	215.598
P8	354.620	215.075
P9	331.442	215.131
P10	326.938	214.793
P11	322.938	214.807
P12	308.411	214.280
P13	273.598	213.346
P14	253.415	217.905
P15	251.759	219.026
P16	225.799	224.389
P17	224.181	225.564



記号	名称	規格	単位	数量	備考
—	フェンス-1	H1200×2000 勾配無 (3%以下)	m	340.6	
—	フェンス-2	H1200×2000 勾配有 (3%以上30%以内)	m	38.5	
—	フェンス-3	H2400×2000 勾配有 (3%以上30%以内)	m	1.1	
—	フェンス-4	パネル+支柱	箇所	1.0	
⊕	門扉	H1200×W2000	基	4.0	
—	電線管理敷	脱股FEP管	m	43.4	

公園名称	皇居外苑北の丸公園		
工事名称	令和5年度皇居外苑北の丸公園外周道路フェンス改修工事		
図面名称	計画平面図(2)	縮尺	S=1/200 (A1) S=1/400 (A3)
年月日	-	図面番号	6 / 13
会社名	三井共同建設 コンサルタント株式会社	照査	照査
事務所名	環境省皇居外苑管理事務所	照査	照査

縦断図(1)



勾配図(フェンス)	10.18 10.18	10.15	10.17	10.17		10.13	10.11	10.10	10.10	10.11	10.12	10.15	10.17	10.17	10.19	10.23
地盤高(擁壁)																
地盤高(緑石)	10.16	10.18	10.15	10.17	10.17	10.13	10.11	10.10	10.10	10.11	10.12	10.15	10.17	10.17	10.19	10.23
単距離	0.00	1.00	2.60	1.98	2.71	55.62	4.94	2.04	2.19	2.08	2.04	2.03	1.90	2.11	1.95	1.96
追加距離	0.00	1.00	3.60	5.58	8.29	63.91	68.85	70.89	73.08	75.16	77.20	79.23	81.13	83.24	85.19	87.15

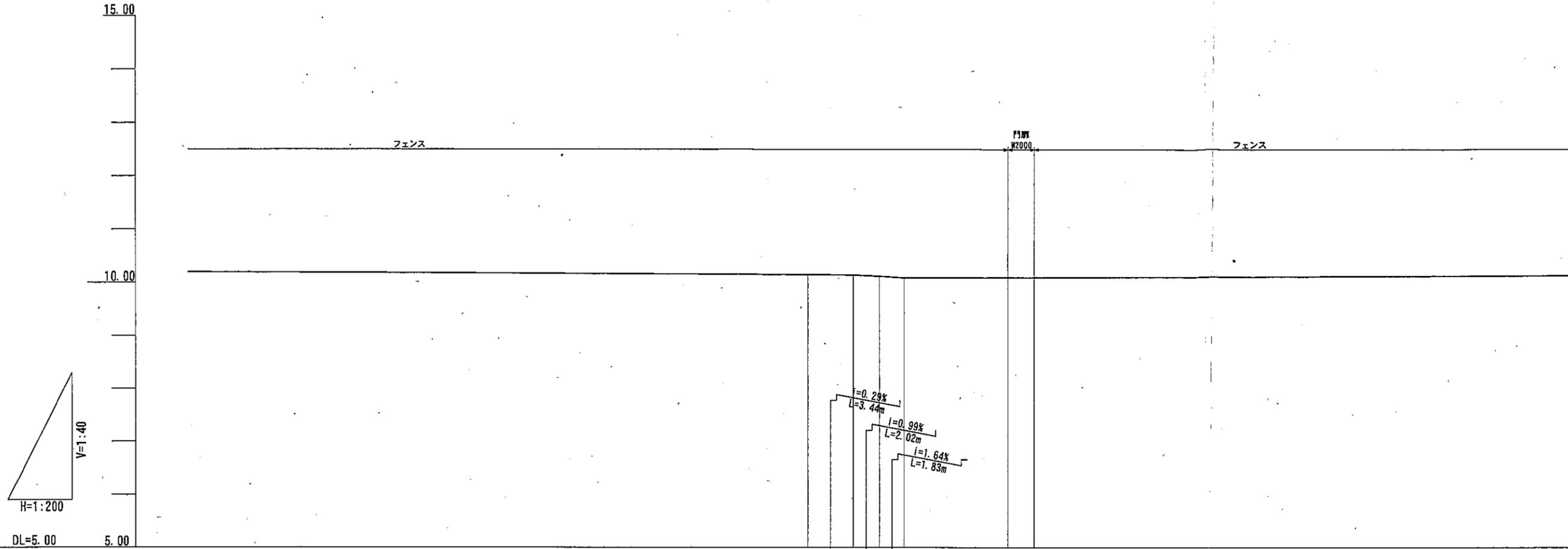
凡例

記号	名称
—	フェンス
—	擁壁
—	緑石

公園名称	皇居外苑北の丸公園		
工事名称	令和5年度皇居外苑北の丸公園外周道路フェンス改修工事		
図面名称	縦断図(1)	縮尺	1/400
年月日	-	図面番号	7 / 13
会社名	三井共同建設 コンサルタント株式会社	監査	設計
事務所名	環境省皇居外苑管理事務所	監査	設計

※緑石端を基準に作成した縦断図であり、フェンスの延長、勾配は参考値とする。

縦断図 (2)



勾配図 (フェンス)					
地盤高 (擁壁)					
地盤高 (緑石)	10.15	10.14	10.12	10.09	
単距離	77.29	3.44	2.02	1.83	
追加距離	164.44	167.88	169.90	171.73	

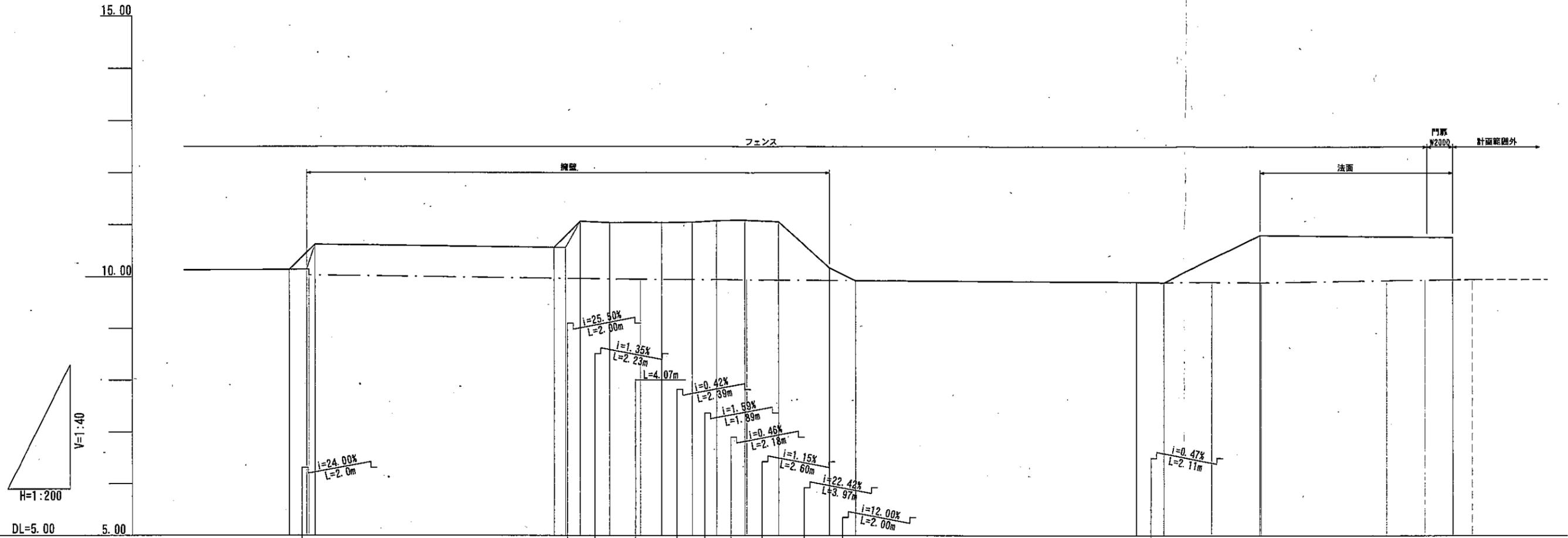
凡例

記号	名称
——	フェンス
——	擁壁
——	緑石

公園名称	皇居外苑北の丸公園		
工事名称	令和5年度皇居外苑北の丸公園外周道路フェンス改修工事		
図面名称	縦断図 (2)	縮尺	H=1/40-H=1/200 (H=1/25-H=1/400 (A3))
年月日	-	図面番号	8 / 13
会社名	三井共同建設 コンサルタント株式会社	照査	設計
事務所名	環境省皇居外苑管理事務所	照査	設計

※緑石端を基準に作成した縦断図であり、フェンスの延長、勾配は参考値とする。

縦断図(3)



勾配図(フェンス)	10.14	10.62	i=0.33% L=18.44m		10.56	11.07	11.04	11.04	11.05	11.08	11.09	11.06	10.17	9.93	i=0.14% L=21.70m		9.90	9.89	i=12.28% L=7.41m		10.80	i=0.29% L=13.91m		10.76
地盤高(擁壁)	10.14	10.62			10.56	11.07	11.04	11.04	11.05	11.08	11.09	11.06	10.17	9.93			9.90	9.89			10.80			10.76
地盤高(緑石)	10.14	10.03			9.95			9.94					9.90	9.89			10.23			10.23	10.23			10.23
単距離	58.53	2.00			18.44	2.00	2.23	4.07	2.39	1.89	2.18	2.60	3.97	2.00			21.70	2.11			7.41			13.91
追加距離	230.26	232.26			250.70	252.70	254.93	259.00	261.39	263.28	265.46	268.06	272.03	274.03			295.73	297.84			305.25			319.16

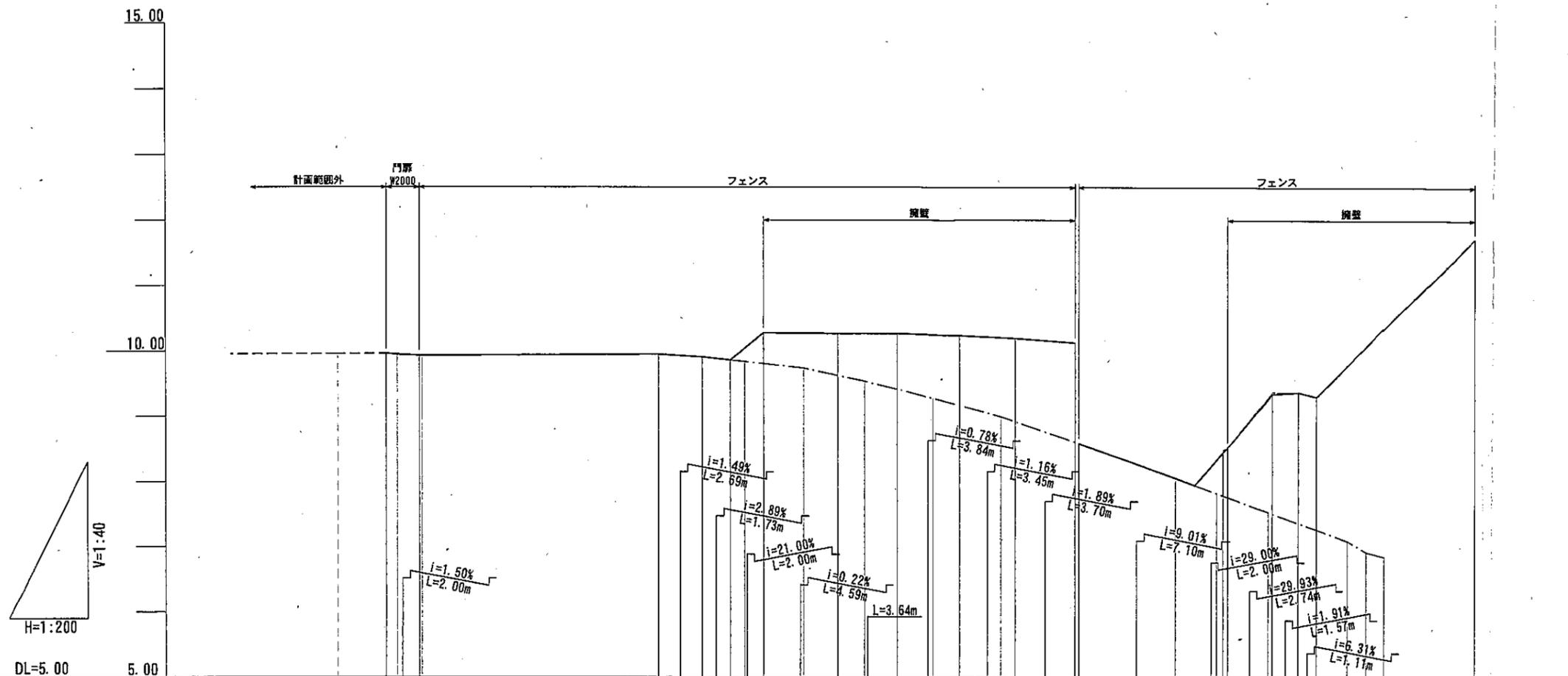
凡例

記号	名称
—	フェンス
—	擁壁
—	緑石

公園名称	皇居外苑北の丸公園		
工事名称	令和5年度皇居外苑北の丸公園外周道路フェンス改修工事		
図面名称	縦断図(3)	縮尺	1/400 (H=1/200, V=1/400)
年月日	-	図面番号	9 / 13
会社名	三井共同建設 コンサルタント株式会社	照査	設計
事務所名	環境省皇居外苑管理事務所	照査	設計

※緑石端を基準に作成した縦断図であり、フェンスの延長、勾配は参考値とする。

縦断図(4)



勾配図(フェンス)															
地盤高(擁壁)	10.28, 10.27, 10.27, 10.24, 10.20, 10.13, 8.53, 9.38, 9.38, 9.31, 11.71														
地盤高(縁石)	9.96, 9.96, 9.93, 9.95, 9.91, 9.84, 9.74, 9.54, 9.28, 9.00, 8.59, 8.33, 8.06, 7.83, 7.54, 7.10, 6.93, 6.86														
単距離	0.00, 2.00, 14.65, 2.69, 1.73, 2.00, 4.59, 3.64, 3.84, 3.45, 3.70, 0.00, 7.10, 2.00, 2.74, 1.57, 1.11, 9.71														
追加距離	0.00, 2.00, 16.65, 19.34, 21.07, 23.07, 27.66, 31.30, 35.14, 38.59, 42.29, 0.00, 7.10, 9.10, 11.84, 13.41, 14.52, 24.23														

凡例

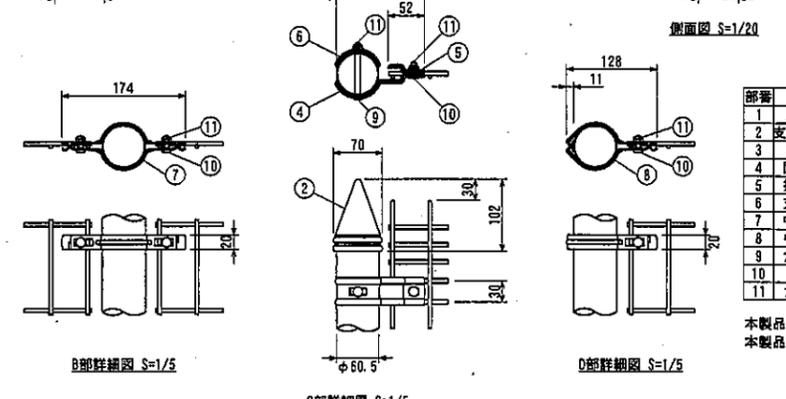
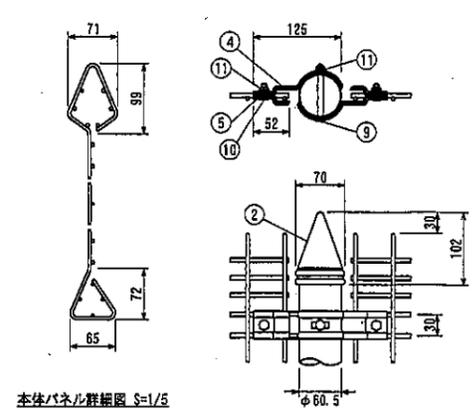
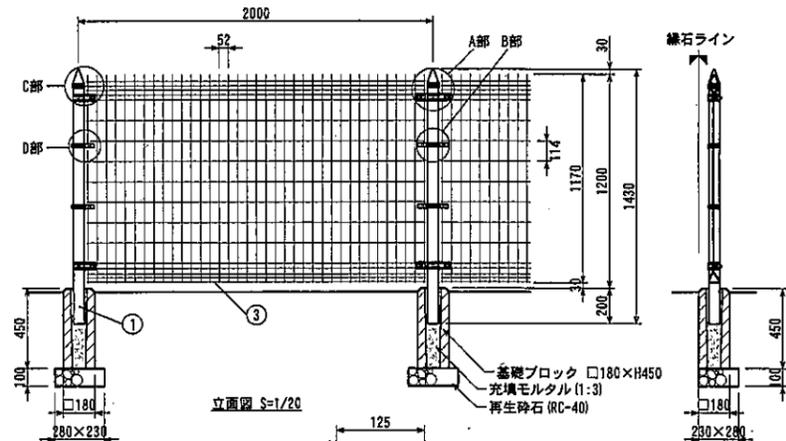
記号	名称
—	フェンス
—	擁壁
—	縁石

公園名称	皇居外苑北の丸公園		
工事名称	令和5年度皇居外苑北の丸公園外周道路フェンス改修工事		
図面名称	縦断図(4)	縮尺	1/400 (H=1/200, V=1/400)
年月日	-	図面番号	10 / 13
会社名	三井共同建設 コンサルタント株式会社	照査	設計
事務所名	環境省皇居外苑管理事務所	照査	設計

※縁石端を基準に作成した縦断図であり、フェンスの延長、勾配は参考値とする。

施設詳細図(1)

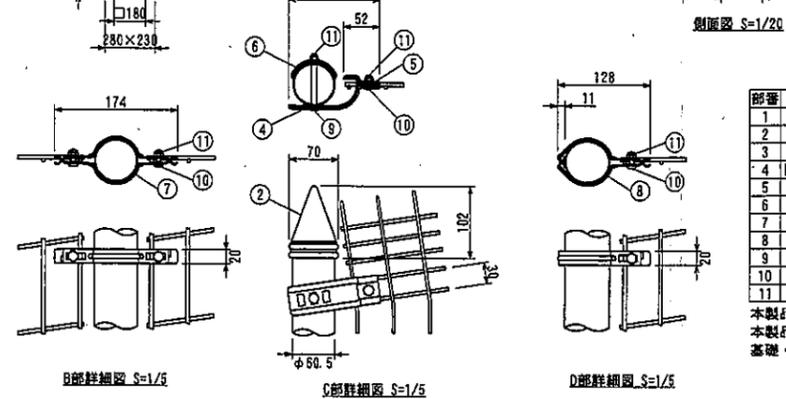
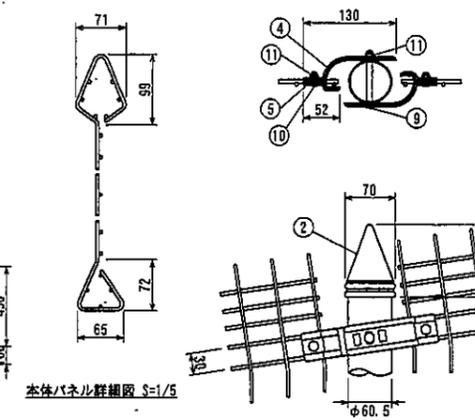
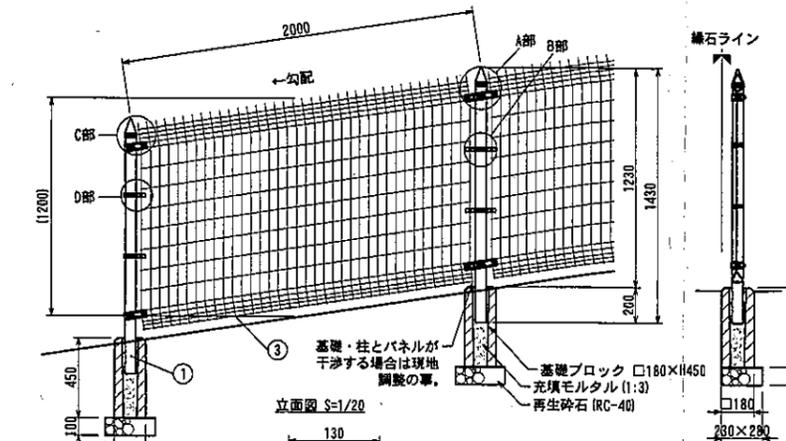
フェンス-1 S=1/20 (A1)



部番	部材名	形格(mm)	材質	摘要
1	支柱 #1200	φ60.5×t1.2	STKM-13A	静電粉体塗装(下地亜鉛めっき)
2	支柱キャップ		アルミ合金	静電粉体塗装
3	本体 #1200	φ3.6、φ4.5	SWMGH-3	流動浸漬塗装(下地亜鉛めっき)
4	固定金具(傾斜用)	t2.3	SGH-227	静電粉体塗装(下地亜鉛めっき)
5	押え金具			
6	支柱カバー			
7	中間金具	t1.6		
8	中間金具端用			
9	角根ボルト	M8×77	4.6相当	溶融亜鉛めっき
10		M8×20		
11	ナット	M8		

本製品は、(一社)日本公園施設業協会SP・SPL表示認定企業製品と同等品以上とする。
本製品は、(一社)日本公園施設業協会の賠償責任保険の加入製品と同等品以上とする。

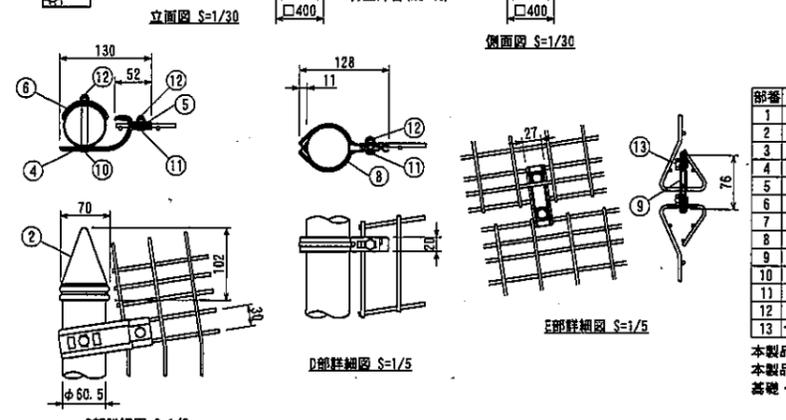
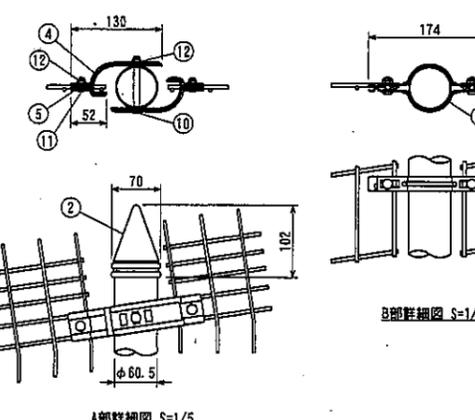
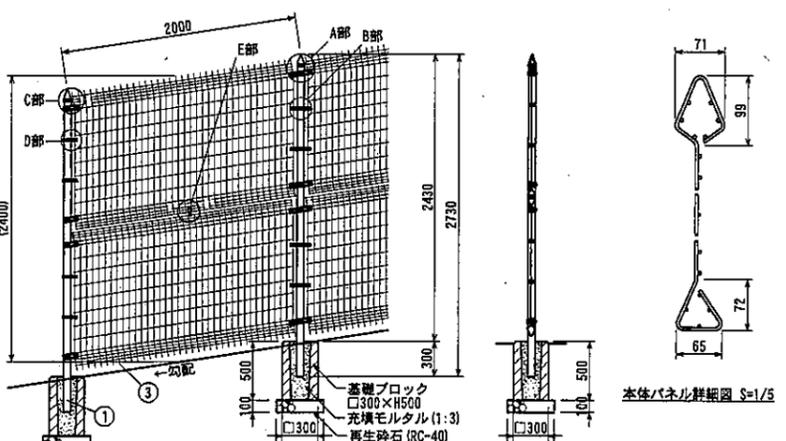
フェンス-2 S=1/20 (A1)



部番	部材名	形格(mm)	材質	摘要
1	支柱 #1200	φ60.5×t1.2	STKM-13A	静電粉体塗装(下地亜鉛めっき)
2	支柱キャップ		アルミ合金	静電粉体塗装
3	本体 #1200	φ3.6、φ4.5	SWMGH-3	静電粉体塗装(下地亜鉛めっき)
4	固定金具(傾斜用)	t2.3	SGH-227	静電粉体塗装(下地亜鉛めっき)
5	押え金具			
6	支柱カバー			
7	中間金具	t1.6		
8	中間金具端用			
9	角根ボルト	M8×77	4.6相当	溶融亜鉛めっき
10		M8×20		
11	ナット	M8		

本製品は、(一社)日本公園施設業協会SP・SPL表示認定企業製品と同等品以上とする。
本製品は、(一社)日本公園施設業協会の賠償責任保険の加入製品と同等品以上とする。
基礎・柱とパネルが干渉する場合は現地調整とする。

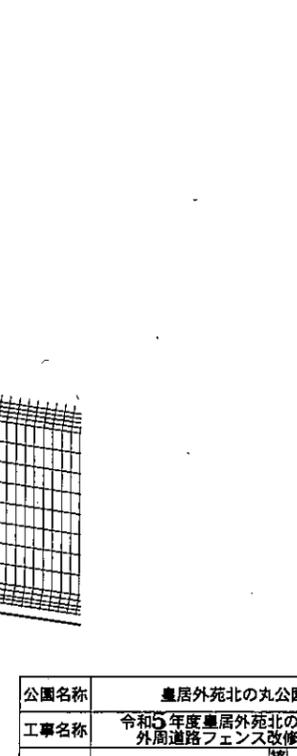
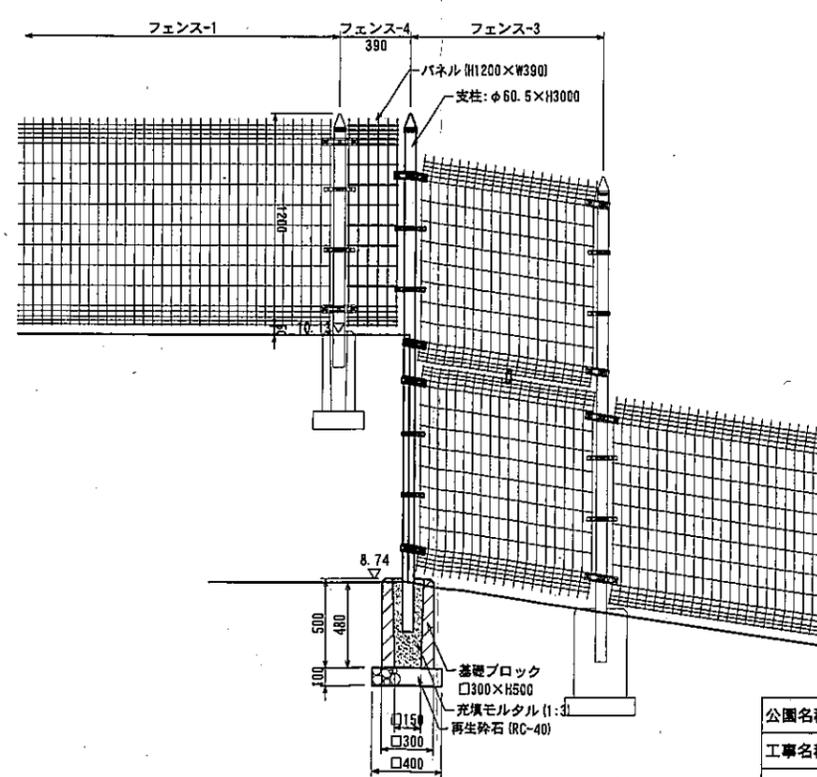
フェンス-3 S=1/30 (A1)



部番	部材名	形格(mm)	材質	摘要
1	支柱 #2000	φ60.5×t2.3	STK400	静電粉体塗装(下地亜鉛めっき)
2	支柱キャップ		アルミ合金	静電粉体塗装
3	本体 #1200	φ3.6、φ4.5	SWMGH-3	流動浸漬塗装(下地亜鉛めっき)
4	固定金具(傾斜用)	t2.3	SGH-227	静電粉体塗装(下地亜鉛めっき)
5	押え金具			
6	支柱カバー			
7	中間金具	t1.6		
8	中間金具端用			
9	パネル連結金具			
10	角根ボルト	M8×77	4.6相当	溶融亜鉛めっき
11		M8×20		
12	ナット	M8		
13	十字穴付六角ボルト	M8×12		

本製品は、(一社)日本公園施設業協会SP・SPL表示認定企業製品と同等品以上とする。
本製品は、(一社)日本公園施設業協会の賠償責任保険の加入製品と同等品以上とする。
基礎・柱とパネルが干渉する場合は現地調整とする。

フェンス-4 S=1/20 (A1)



部番	部材名	形格(mm)	材質	摘要
1	支柱 #2000	φ60.5×t2.3	STK400	静電粉体塗装(下地亜鉛めっき)
2	支柱キャップ		アルミ合金	静電粉体塗装
3	本体 #1200	φ3.6、φ4.5	SWMGH-3	流動浸漬塗装(下地亜鉛めっき)
4	固定金具(傾斜用)	t2.3	SGH-227	静電粉体塗装(下地亜鉛めっき)
5	押え金具			
6	支柱カバー			
7	中間金具	t1.6		
8	中間金具端用			
9	パネル連結金具			
10	角根ボルト	M8×77	4.6相当	溶融亜鉛めっき
11		M8×20		
12	ナット	M8		
13	十字穴付六角ボルト	M8×12		

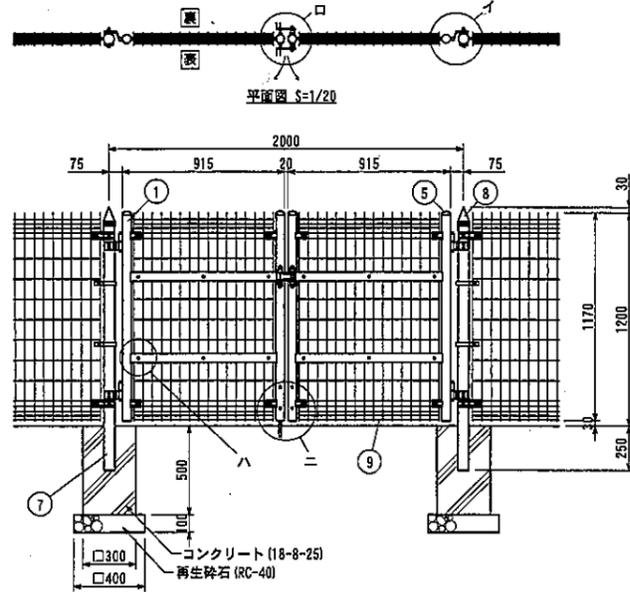
本製品は、(一社)日本公園施設業協会SP・SPL表示認定企業製品と同等品以上とする。
本製品は、(一社)日本公園施設業協会の賠償責任保険の加入製品と同等品以上とする。
基礎・柱とパネルが干渉する場合は現地調整とする。

公園名称	皇居外苑北の丸公園		
工事名称	令和5年度皇居外苑北の丸公園外周道路フェンス改修工事		
図面名称	施設詳細図(1)	縮尺	図示
年月日	-	図面番号	11 / 13
会社名	三井共同建設	監査	設計
事務所名	コンサルタント株式会社	監査	設計
	環境省皇居外苑管理事務所	監査	設計

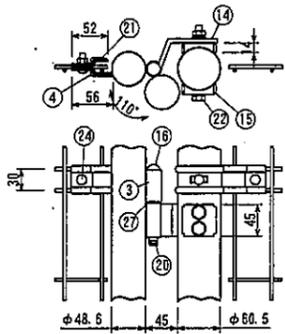
※フェンスの色彩は、こげ茶色またはダークブラウン(標準色)とする。(10YR2.0/1.0近似色)

施設詳細図 (2)

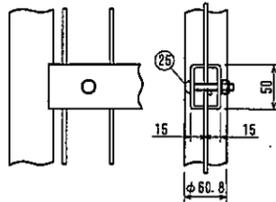
門扉
S=1/20 (A1)



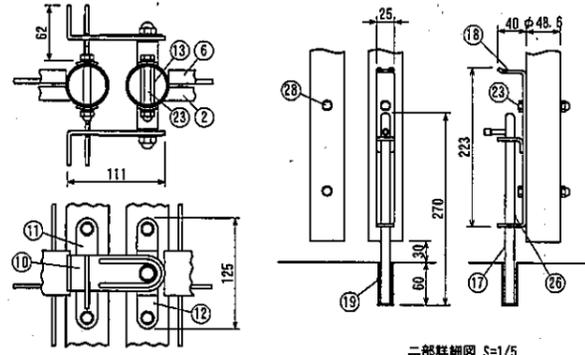
立面図 S=1/20



イ部詳細図 S=1/5



ハ部詳細図 S=1/4



ニ部詳細図 S=1/5

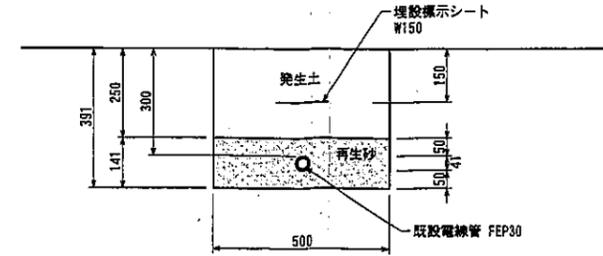
ロ部詳細図 S=1/4

部番	部材名	形格 (mm)	材質	備 考
1	門扉タテ枠材	φ48.6×t2.4	STK-400	静電粉体塗装 (下地亜鉛めっき)
2	門扉ヨコ枠材	t3.2	SGH	"
3	門扉ヒジツボ	φ22	SS400	"
4	パネル固定金具	t2.3	SGH	"
5	鉄 キャップ	t1.6	"	"
6	横 枠 押 え	t3.2	"	"
7	吊 門 柱	φ60.5×t2.3	STK-400	"
8	支柱キャップ	t2.5	アルミ合金	"
9	メッシュパネル	φ3.6, φ4.5	亜鉛めっき鉄線	流動浸漬塗装 (下地亜鉛めっき)
10	掛 金 具	t4	ステンレス	
11	受 金 具	t4	"	
12	軸 受 金 具	t3	"	
13	ス ピ ン ド ル	φ15	"	
14	ヒ ン ジ	t6		溶融亜鉛めっき
15	ヒンジ用座金	t3.2		"
16	ヒンジ芯棒	φ12		"
17	落 し 棒	φ13	ステンレス	
18	落し棒受金具	t4	"	
19	受けパイプ	φ18×t2	PVC	
20	割 り ビ ン	4×20	ステンレス	
21	押 え 金 具	t2.3	SGH	静電粉体塗装 (下地亜鉛めっき)
22	取付ボルト	M10×100	SWCH	溶融亜鉛めっき
23	"	M8×65	ステンレス	
24	"	M8×20	SWCH	溶融亜鉛めっき
25	ナベビス	M8×50	"	
26	"	M4×8	ステンレス	
27	座 金	12	黄銅	
28	メカクシキャップ	φ10	合成ゴム	

本製品は、(一社)日本公園施設業協会SP・SPL認定表示企業の製品と同等品以上とする。
本製品は、(一社)日本公園施設業協会の賠償責任保険加入製品と同等品以上とする。

※門扉の色彩は、こげ茶色またはダークブラウン (標準色) とする。(10YR2.0/1.0近似色)

電線管理設標準図
S=1/10 (A1)

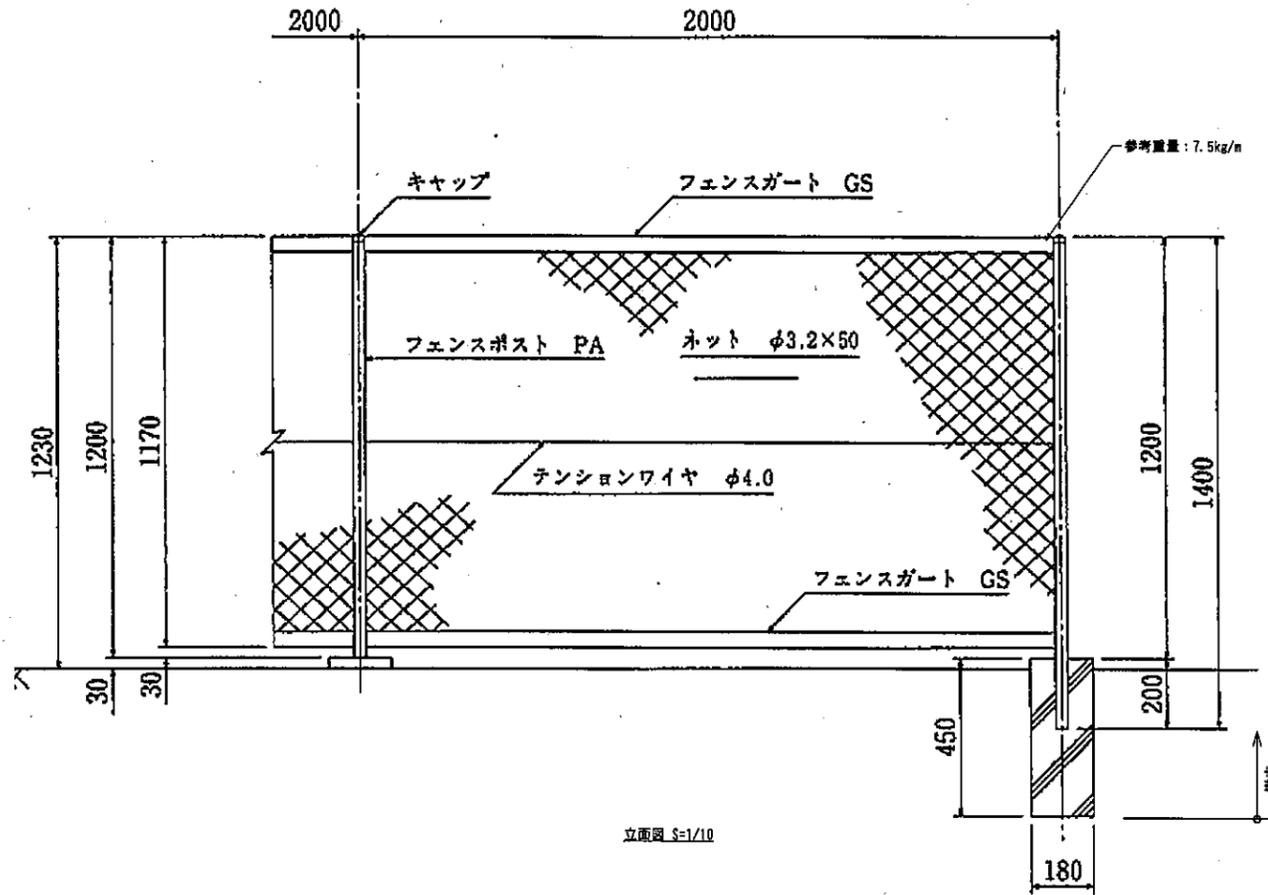


※電線管は既存再利用とする。
※電線管とフェンス基礎の離隔距離は300以上とする。

公園名称	皇居外苑北の丸公園		
工事名称	令和5年度皇居外苑北の丸公園 外周道路フェンス改修工事		
図面名称	施設詳細図 (2)	縮尺	図示
年月日	-	図面番号	12 / 13
会社名	三井共同建設 コンサルタント株式会社	監査	設計
事務所名	環境省皇居外苑管理事務所	監査	設計

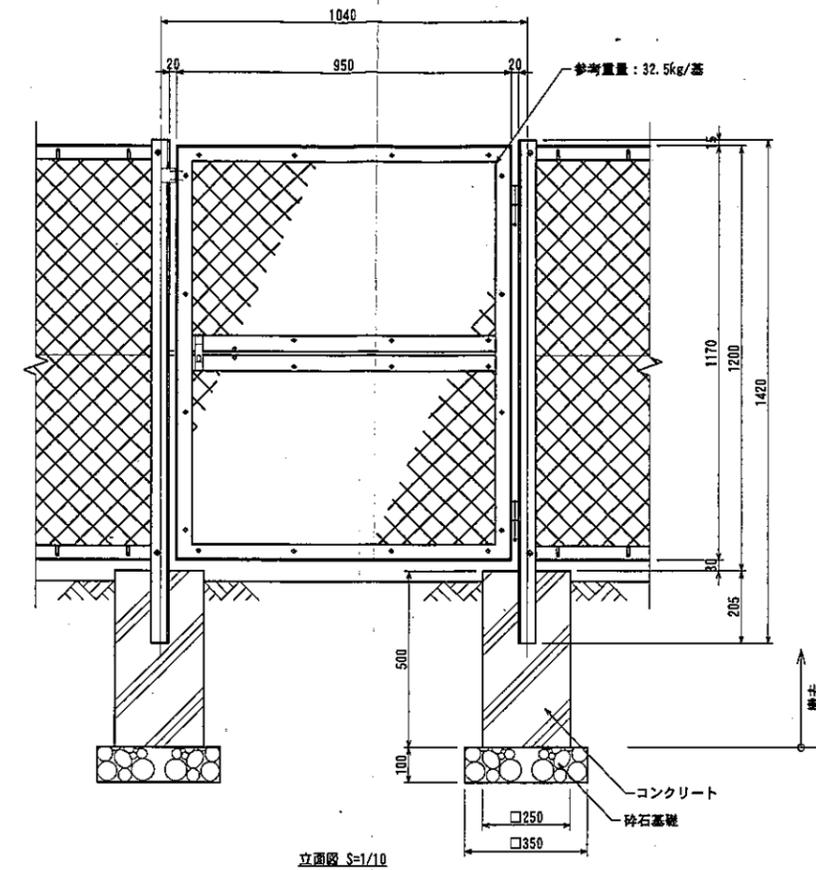
撤去詳細図

フェンス撤去
S=1/10 (A1)



立面図 S=1/10

門扉撤去
S=1/10 (A1)



立面図 S=1/10

公園名称	皇居外苑北の丸公園		
工事名称	令和5年度皇居外苑北の丸公園外周道路フェンス改修工事		
図面名称	撤去詳細図	縮尺	図示
年月日	-	図面番号	13 / 13
会社名	三井共同建設 コンサルタント株式会社	照査	設計
事務所名	環境省皇居外苑管理事務所	照査	設計

設計内訳書

工事名	令和5年度皇居外苑北の丸公園外周道路フェンス改修工事					事業区分			
						工事区分			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
基盤整備工		式	1						
撤去工		式	1						
構造物取壊し工		式	1						
無筋構造物		m3	2.9					第1号 明細書	
公園施設撤去工		式	1						
フェンス撤去	金網H1200	m	378.6					第2号 明細書	
門扉撤去	H1200×W1000	基	2					第3号 明細書	
切株撤去	幹周90cm以上120cm未満	本	1					第4号 明細書	
発生材運搬工		式	1						
発生材運搬	無筋コンクリート	m3	2.9					第5号 明細書	
発生材運搬	金属くず	回	1					第6号 明細書	
発生材運搬	木くず	回	1					第7号 明細書	

設計内訳書

工事名	令和5年度皇居外苑北の丸公園外周道路フェンス改修工事					事業区分			
						工事区分			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
発生材処分工		式	1						
発生材処分	無筋コンクリート	m3	2.9					第8号 明細書	
発生材処分	金属くず	t	2.9					第9号 明細書	
発生材処分	木くず	t	0.6					第10号 明細書	
敷地造成工		式	1						
公園土工		式	1						
残土処理	場内処理	m3	5.3					第11号 明細書	
作業土工		式	1						
床掘り		m3	31.6					第12号 明細書	
埋戻し		m3	26.8					第13号 明細書	
基面整正		m2	35.4					第14号 明細書	
施設整備工		式	1						

設計内訳書

工事名	令和5年度皇居外苑北の丸公園外周道路フェンス改修工事					事業区分			
						工事区分			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
施設整備工		式	1						
柵工		式	1						
フェンスー1	H1200 勾配無	m	340.6					第15号 明細書	
フェンスー2	H1200 勾配有	m	38.5					第16号 明細書	
フェンスー3	H2400 勾配有	m	1.1					第17号 明細書	
フェンスー4	パネル+支柱	箇所	1					第18号 明細書	
門扉工		式	1						
門扉	両開き H1200×W2000	基	4					第19号 明細書	
電線管路工		式	1						
電線管路設	既設FEP管	m	43.4					第20号 明細書	
直接工事費計		式	1						
共通仮設費		式	1						

設計内訳書

工事名	令和5年度皇居外苑北の丸公園外周道路フェンス改修工事					事業区分			
						工事区分			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
共通仮設費(率計上)		式	1						
純工事費		式	1						
現場管理費		式	1						
工事原価		式	1						
一般管理費等		式	1						
工事価格		式	1						
消費税相当額		式	1						
工事費計		式	1						

無筋構造物
第 1号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
無筋構造物【4週8休】	時間的制約 無 機械施工 昼間	m3	1					
	合計							
	1m3当り							

フェンス撤去
第 2号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
フェンス撤去	H1200							
		m	1					
	合計							
	1m当り							

門扉撤去
第 3号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
門扉撤去 H1200×W1000		基	1					
	合計							
	1基当り							

切株撤去
第 4号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
支障木の抜根[参考]	機械抜根 60cm以上90cm未満トラック運転費を計上する	本	1					
	合計							
	1本当り							

発生材運搬
第 6号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
収集・運搬受託料金(建設系廃棄物)	2t・3tダンプ車 片道距離概ね25km 平均【東京都】	1回	1					
	合計							
	1回当り							

発生材運搬
第 7号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
収集・運搬受託料金(建設系廃棄物)	2t・3tダンプ車 片道距離概ね25km 平均【東京都】	1回	1					
	合計							
	1回当り							

発生材処分
第 8号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
中間処理受入料金調査結果	コンクリート塊(無筋) 30cm以下 下限【東京都】							
		m3	1.48					
	合計							
	1m3当り							

発生材処分
第 9号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
中間処理受入料金調査結果	金属くず 下限【東京都】							
		t	1					
	合計							
	1t当り							

残土処理
第 11号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
整地敷均し (ルーズ)	バックホウ積込 山0.80(平0.60)m3 バックホウ 排ガス 対型 レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m3	1					
	合計							
	1m3当り							

床掘り
第 12号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
小規模土工床掘:10版	標準 バックホウ山0.28(平0.20)m3 バックホウ排ガス対型	m3	1					
	合計							
	1m3当り							

埋戻し
第 13号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
小規模土工埋戻し:10版	標準 バックホウ山0.28(平0.20)m3 バックホウ排ガス対型	m3	1					
	合計							
	1m3当り							

基面整正
 第 14号明細書

単価使用年月 歩掛適用年月 労務調整係数	
----------------------------	--

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
基面整正(人力床均し)		m2	1					
	合計							
	1m2当り							

フェンスー1
第 15号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
基礎碎石	7.5cmを超え12.5cm以下 再生道路用碎石 補正する(大都市:0.8)	m2	0.039					
モルタル練	セメント(袋) 補正する(大都市:0.8)	m3	0.002					
フェンス基礎ブロック設置[参考]	控柱なし180*180*450 モルタル(1:3)を計上しない砂利 粒径25~5mm 洗い 粗骨材フェンス用ブロック 18×18×45cm	箇所	1					
フェンス用ブロック	18×18×45cm	個	1					
フェンス (材)	H1200 勾配無し	m	1					
フェンス (工)	H1200 勾配無し	m	1					
	合計							
	1m当り							

フェンスー2
第 16号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
基礎碎石	7.5cmを超え12.5cm以下 再生道路用碎石 補正する(大都市:0.8)	m2	0.039					
モルタル練	セメント(袋) 補正する(大都市:0.8)	m3	0.002					
フェンス基礎ブロック設置[参考]	控柱なし180*180*450 モルタル(1:3)を計上しない砂利 粒径25~5mm 洗い 粗骨材フェンス用ブロック 18×18×45cm	箇所	1					
フェンス用ブロック	18×18×45cm	個	1					
フェンス (材)	H1200 勾配有	m	1					
フェンス (工)	H1200 勾配有	m	1					
	合計							
	1m当り							

フェンスー3
第 17号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
基礎碎石	7.5cmを超え12.5cm以下 再生道路用碎石 補正する(大都市:0.8)	m2	0.039					
モルタル練	セメント(袋) 補正する(大都市:0.8)	m3	0.002					
フェンス基礎ブロック設置[参考]	控柱なし300*300*700 モルタル(1:3)代価を計上空練りを行う再生道路用碎石 再生クラッシュラン 40~0mm RC-40フェンス用ブロック 30×30×50cm	箇所	1					
フェンス用ブロック	30×30×50cm	個	1					
フェンス (材)	H2400 勾配有	m	1					
フェンス (工)	H2400 勾配有	m	1					
	合計							
	1m当り							

フェンスー4
第 18号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
基礎碎石	7.5cmを超え12.5cm以下 再生道路用碎石 補正する(大都市:0.8)	m2	0.039					
モルタル練	セメント(袋) 補正する(大都市:0.8)	m3	0.002					
フェンス基礎ブロック設置[参考]	控柱なし300*300*700 モルタル(1:3)代価を計上空練りを行う再生道路用碎石 再生クラッシュラン40~0mm RC-40フェンス用ブロック 30×30×50cm	箇所	1					
フェンス用ブロック	30×30×50cm	個	1					
フェンス (材)	パネル+支柱	m	1					
フェンス (工)	パネル+支柱	m	1					
	合計							
	1箇所当り							

門扉
第 19号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
基礎碎石	7.5cmを超え12.5cm以下 再生道路用碎石 補正する(大都市:0.8)	m2	0.039					
型枠	一般型枠 小型構造物 補正する(大都市:0.8)	m2	1					
人力打設	小型構造物 小運搬無し 養生工無し 小型割増無しレディーミストコンクリート(高炉) 24-12-25(20) W/C=55%以下 B種	m3	1					
門扉(材)		基	1					
門扉(工)		基	1					
	合計							
	1基当り							

電線管路設
第 20号明細書

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
地中管路(イ) 波付硬質合成樹脂管(FEP)	撤去工事(撤去後再使用する(取外し)) 標準 (0.40) 30mm 下限値	m	1					
再生砂		m3	1					
埋設標識シート敷設		m	1					
	合計							
	1m当り							